

1. 交付金事業の名称 原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体 愛知県
3. 交付金事業の実施場所 愛知県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

デジタル放射線測定器等を整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

核融合科学研究所等を見学した。

(3) 講演会の実施

有識者による講演会を実施し、原子力・エネルギーについての理解を深めた。

(4) 教員研修の実施

発電・エネルギーについての教員研修を火力発電所へ赴き実施した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 2, 426, 277円

交付金充当額 2, 426, 277円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、当初70%に対して、実績が実験器具・実験材料の整備事業は90%、施設見学事業が78%、講演会事業が84%、教員研修事業が88%であった。実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業、教員研修を実施したことにより、実際に実験を行ったり、施設見学や講演会を通して、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、生徒の理解が促進された。
- ・当事業により原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、当初70%に対して、実績が実験器具・実験材料の整備事業は86%、施設見学事業は88%、講演会事業が86%、教員研修事業が90%であった。
- ・本事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育のための環境整備として実験器具・実験材料の整備、施設見学、講演会事業、教員研修事業が促進されたと評価できる。

- ・ 当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合〔理解度〕は、目標 90%に対して実績 88%で、達成度は 98%だった。原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合〔満足度〕は、目標 90%に対して実績 88%で、達成度は 98%だった。
- ・ 実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育への環境が整備され、原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進されたと評価できる。